

防犯協会が新1年生と2年生に防犯ブザーを寄贈



4月5日、芦別市防犯協会は、市内の新1年生と2年生に向けて防犯ブザー105個を教育委員会に贈呈しました。

昨年度、市内では不審者の声かけなどが数件発生していることから、子どもたちを犯罪から守るため防犯ブザーが寄贈されました。

ブザーを受け取った福島教育長は「犯罪はいつ起こるか分からない。危機感を持ちながら対応したい。この防犯ブザーを契機として家庭内でも不審者に対する心構えなどコミュニケーションをとってもらいたい」と話していました。

芦別消防団第五分団に新ポンプ車

4月6日、芦別消防団第五分団に導入される新ポンプ車が芦別市役所に到着し、荻原市長らが職員から装備などの説明を受けました。

27年前に購入した車両が老朽化したため、新しく導入されたポンプ車は消防車の代表的車種、モリタ社の「CD-I型」。安全機能付ポンプ操作

盤「e-モニタ」が搭載され、自動揚水装置とチェックモニタ装置で安全性と操作性が向上しています。

荻原市長は、「団員の皆様と協力して、地域の安心・安全に寄与してほしい」と話し、その後ポンプ車は上芦別地区を管轄する第五分団に納車されました。



夢へ向かい誓いの第一歩、北日本自動車大学校で入学式



専門学校北日本自動車大学校の第39回入学式が4月6日、同校で行われました。

一級整備士養成課程（4年制）の自動車工学科に編入生を含む7人と二級整備士養成課程（2年制）の自動車整備科に21人の計28人が入学。

入学式では、昨年4月より学校長

に就任した酒井校長が「自動車業界や芦別にとって役に立つ人になろう」と式辞を述べました。

新入生からは、自動車整備課に入学した加藤ななみさんが28人を代表して「所期の目標を達成するため、規則を守り学業に励みます」と誓いの言葉を述べました。

芦別消防団員を募集中

芦別消防団では、各地域で活躍する消防団員を募集しています。年齢満18歳以上で、本市に居住されている心身ともに健康なかたであれば性別を問わず入団できます（高等学校在学中のかたは入団できません）。

消防団員は、「自らの地域は自らで守る」という郷土愛の精神に基づき、地域の防災リーダーとして幅広い活動を行っています。消火活動はもとより、地震、風水害、行方不明者の搜索等、さまざまな災害に出動し活躍しています。

消防団員の処遇については、年額報酬が支給され、災害活動や訓練に出動した際には出動報酬及び費用弁償が支給されます。その他、公務災害補償、被服の貸与、退職報償金（5年以上勤続）、各種表彰制度等があります。

地域住民の安全・安心のために重要な役割を担っている消防団に興味・関心のあるかたは、芦別消防署までお問い合わせください。

●詳細 芦別消防署庶務係 ☎22-3106